

「今後のトラック協会の在り方について説明会」開催

公益社団法人沖縄県トラック協会の事業運営において、重要な役割を担う協会理事の定年制の導入・人数の削減等が図られたところであり、宮古・八重山の会員を対象とした「今後のトラック協会の在り方について」の説明会を開催しました。

説明会では、佐次田会長の開会挨拶、宮平専務から総会議案書に掲載した諸規程の変更点、及び定款の一部改正の内容の説明があり、意見交換の後、新城副会長の挨拶で閉会としました。

具体的には、宮古・八重山における理事が現在の1人から2人に、トラック協会支部長と事業協同組合の理事長は兼務できない。2人の理事のうち、1人は法人事業者の取締役以上の者であること。任期最終年の4月1日現在満70歳までの会員とする等の説明がありました。

参加者は、熱心に聞き入り、支部の運営と事業協との関係がどうなるか心配する意見等もありましたが、来年5月の総会までに課題等の検討を行い克服を図っていくことで理解を得たところです。

なお、当日の開催状況は下記のとおりです。

また、宮古においては、平良港港湾工事の現場状況確認、及び宮古運輸事務所から白トラ等現状把握の為の街頭検査を実施する旨の説明を受けました。

八重山においては、石垣市長へ「公共工事発注に際しての事業用自動車（緑ナンバー）使用に関する要請」（地元新聞記事参照）を行いました。



会長挨拶

| | 開催年月日 | 開催場所 | 参加者数 |
|-----|-----------|-----------------|------|
| 宮古 | 平成28年7月4日 | ホテルアトールエメラルド宮古島 | 23人 |
| 八重山 | 平成28年7月5日 | 南のちゅら島 ホテルミヤヒラ | 25人 |

緑ナンバー車の使用を

県トラック協会の佐次田明会長と、同八重山支部の西里専務支部長（中央）は、5日午後、市役所庁舎で中山義隆市長、白ナンバーの雇用タクシーの運用を巡る協議を行った。白トラは横行している。熊山は比較的（台数は）少ないが、事故が懸念される。中山義隆市長に要請書を手渡す県トラック協会の佐次田明会長（右）と同八重山支部の西里専務支部長（中央）＝5日午後、市役所庁舎



会場の様子（宮古）



説明者



会場の様子（八重山）